

Sophos Backup and Recovery for M365 - powered by Rubrik

Microsoft 365 向けの安全な自動バックアップと迅速な復旧

Microsoft 365 は現代のビジネスを支える基盤ですが、Microsoft の標準機能は、迅速かつ大規模な復旧を目的として設計されていません。ごみ箱内のデータには保持期限があり、また訴訟ホールドは法的証拠開示のための機能であって、データ復元を目的としたものではありません。ランサムウェア攻撃を受けたり、管理者の操作ミスによってデータが破損したりした場合、専用のバックアップソリューションを備えていない組織は、数日から数週間に及ぶダウンタイムに直面する可能性があります。Sophos Backup and Recovery for M365 は、エアギャップ形式の不変 (イミュータブル) バックアップと、Exchange Online、OneDrive、SharePoint、Microsoft Teams にわたる迅速かつきめ細かな復旧機能により、このギャップを解消します。

ユースケース

1 | Microsoft 365 はランサムウェア攻撃における最大の標的

期待される成果：組織には、M365 データがランサムウェア、悪意のある内部関係者、偶発的な削除による被害から保護されており、問題発生時には迅速に復旧できるという確信が求められます。

対策：Sophos Backup and Recovery for M365 は、エアギャップを活用してバックアップを M365 テナントから論理的に分離し、保護します。WORM ロックによるイミュータビリティ、SLA Retention Lock、Intelligent Data Lock により、管理者の認証情報が侵害された場合でも、バックアップデータを削除したり改ざんしたりすることはできません。多要素認証によって攻撃者の不正アクセスを防ぎ、BYOK (Bring Your Own Key) 暗号化により、データに対する完全な管理権限を常に維持できます。

2 | M365 の標準ツールはサイバー攻撃からの復旧用に構築されていない

期待される成果：インシデント発生時には、組織はすべてのワークロードにわたる大規模な復旧を迅速に実行できる必要があります。何週間にも及ぶ手作業や、データを本当に復元できるのかという不確実性に悩まされることなく復旧できなければなりません。

対策：Sophos Backup and Recovery for M365 は、1 通のメールから OneDrive や SharePoint サイト全体まで、個別復元にも一括復元にも対応します。特定時点のスナップショット、キーワードや期間指定による検索機能、そしてポリシーに基づく自動保護により、Microsoft 標準の復旧ツールに伴う運用負荷を解消します。元のユーザーへの復元はもちろん、別のユーザーへの復元にも対応し、Exchange、OneDrive、SharePoint、Teams 全体にわたってユーザー間の復元をサポートします。

3 | すべての M365 テナントは、いずれデータ保護のギャップが問題化する可能性を抱えている

期待される成果：あらゆる規模の組織が求めているのは、コンプライアンス要件を満たし、環境の拡大に合わせて自動的にスケールし、既存のセキュリティ運用と統合できる、シンプルでコストを予測しやすい M365 向けのデータ保護ソリューションです。

対策：Sophos Backup and Recovery for M365 は、Sophos Email、Endpoint、Firewall、MDR の管理にも利用される単一の管理コンソール Sophos Central から運用できます。単一のユーザー単位ライセンスでソフトウェアとストレージの両方をカバーし、コストを固定化して予測可能にします。新たに作成されたユーザー、サイト、Teams には、保護ポリシーが自動的に適用されます。マルチリージョン対応のストレージオプションはデータレジデンシー要件への対応を支援し、ロールベースアクセス制御 (RBAC) はチーム間でのコンプライアンス業務の権限委任を簡素化します。

詳細と開始方法：Sophos Backup and Recovery for M365

275%

Microsoft 365 を標的としたランサムウェア攻撃の前年比の増加率

14 日

Microsoft 365 の標準ツールを使用して 1,000 ユーザーのデータを手動で復元するのにかかる日数

60%

M365 アカウントが乗っ取られたことがある組織の割合